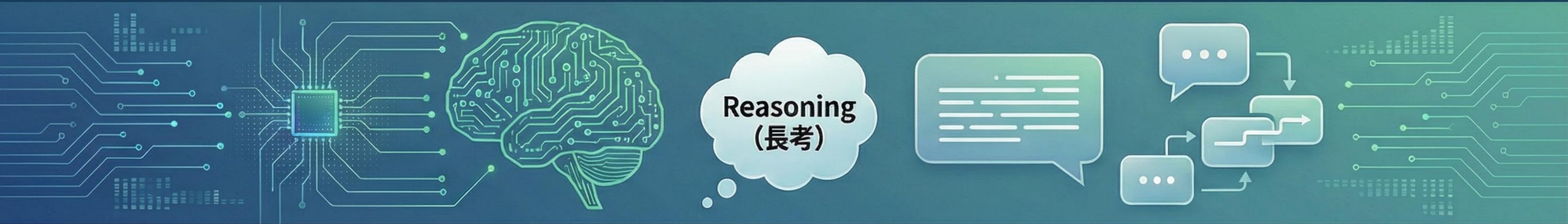


国内初、“長考”するAIの誕生：国産フルスクラッチLLM「PLaMo 3.0 Prime」



国内初、「Reasoning (長考)」機能

単なる応答生成ではなく、機数の条件を論理的に整理し、複雑な課題に対して段階的な思考プロセスを経て結論を導き出します。

ゼロから構築された「フルスクラッチ」開発

既存モデルに依存せず、アーキテクチャの一新と事前学習からの再構築により、高いカスタマイズ性と信頼性を実現しています。

企業の機微的意思決定の「思考エンジン」へ複雑なプロンプトの潤沢、情報抽出、ロールプレイングなど、高度な文脈理解が必要なタスクで威力を発揮します。

国内エコシステムと今後の展開



2026年3月19日
β版リリース

モニター企業による
実環境検証 &
フィードバック収集

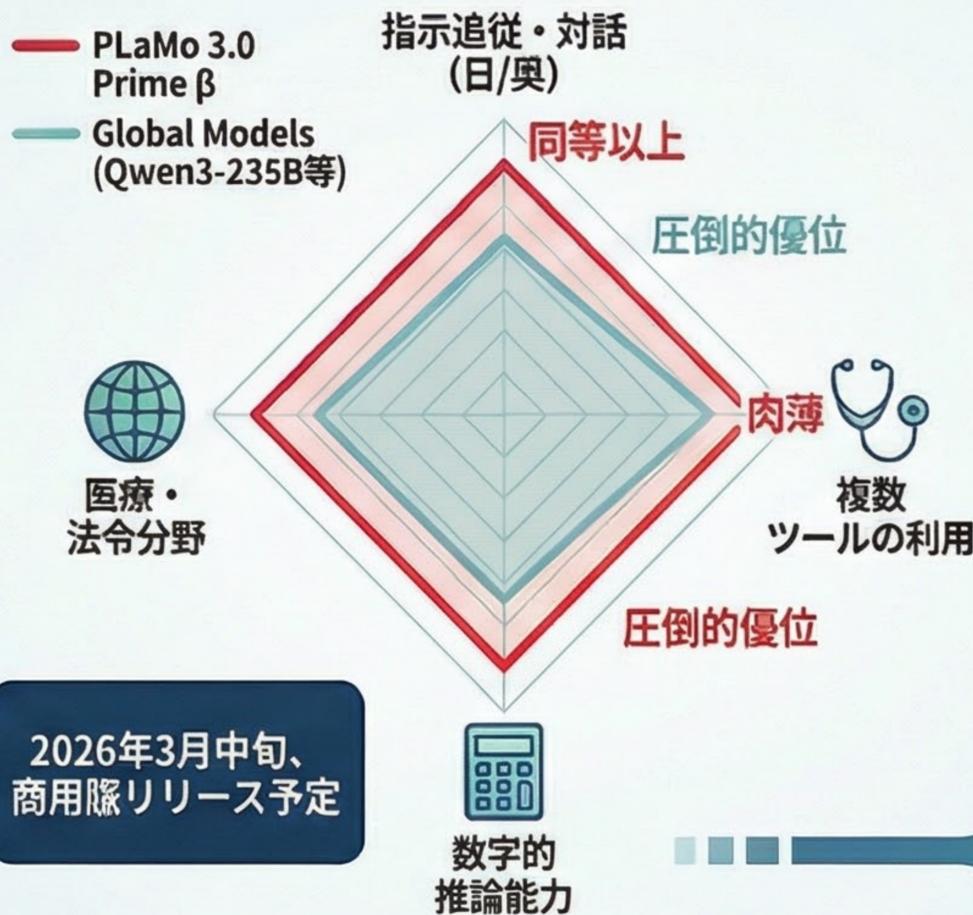
2026年3月中旬、
商用版リリース予定



多様なビジネスシーンへの導入実績
(自治体, QcommonsAI; 法人,
Tachyon Generative AIなど)

経済産業省「GENIAC」プロジェクトの成果
日本のAI技術主指の確立を目指す
国家的プロジェクトの支援

性能評価：グローバルモデルとの比較



コンテキスト長の大幅拡張



克服すべき課題と将来の目標



数学的推論とツール利用性能の改善
ベンチマークで明らかになった数学的
解決能力や、複雑な外部ツール連携の
弱を今後の開発で優先的に強化します。



さらなるコンテキスト長の拡大
最先端の海外モデル (GPT-5.2等) に
追いつくべく、さらなる長文処理能
力の向上を目指します。